

Hi, friends 1 Lesson 8 第5時

6 本時の学習 (5 / 5)

(1)本時のねらい : 積極的に時間割を伝え合おうとする。

(児童のめあて... 例 「夢の時間割」を伝え合おう!)

(2)評価規準 ○ 時間割について積極的に尋ねたり答えたりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ) (慣) (気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !” ○ジェスチャーしながらあいさつ	“Let’s start !” “How are you ?”	
導入	○P.34【Let’s Chant】 What do you study? ・リズムに合わせてデジタル教材と一緒に言う。	・デジタル教材を聞かせる。	
展開	○本日のめあてを知る。 ○夢の時間割を伝えよう(P.35) ・ペアになり相手の質問に答えて、自分の「夢の時間割」を伝える。 ・相手から聞いた時間割を誌面に書き込む。 ○みんなの「夢の時間割」を作ろう ・3～5人のグループになり、相談しながら自分たちのグループの夢の時間割を考える。(何曜日でもよい) ・1時間はオリジナル教科を入れるようにする。 ・決まったら、絵カードを貼り、「夢の時間割」を作成する。オリジナル教科は絵を描いても教科名を書いてもよい。 ○「夢の時間割」クイズ ・掲示された「夢の時間割」を見て、どのグループが作ったか予想する。 ・質問の答えから他のグループの「夢の時間割」かを予想し、解答用紙に書き留める。 ・自分たちが作った「夢の時間割」を紹介し合って答えを確かめる。 We study ○○, △△, □□, ☆☆, ◇◇ and ◎◎ on ~. ・オリジナル教科についても説明する。	・本日のめあてを伝える。 ・活動の説明をする。 (できればデモンストレーションを行う。できなければ一人2役でA, Bを行う。) A: What do you study? B: I study ○○, △△, □□, ☆☆, ◇◇ and ◎◎. A: I see. ・活動の説明をする。グループの「夢の時間割」はあとでクイズにするので他のグループに見せないよう伝える。 ・オリジナル教科については例を紹介すると考えやすい。 【例】パソコンの授業、将棋やチェスの授業など ・活動を説明する。 ・各グループの「夢の時間割」を黒板に掲示し、A、B、C…と便宜上名前をつける。 * どのグループが作ったものかわからないように注意する。 ・解答用のワークシートを配付する。 ・1グループに対して他のグループから1回ずつ質問させる。 ・最後に各グループに発表させて、答えを確認し、いくつ正解したか確かめる。	(慣)時間割について尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。 < 行 動 観 察 > ☆教材⑫時間割表(6時間目まで空白A3) またはデジタル教材 CD 内 DATA→data→worksheet→Word(PDF, ichitaro)→ws 8 Jikanwari 1(4時間目まで)をA3に拡大 ☆教材⑬教科カード(巻末児童用絵カードと同じ) デジタル教材 CD にもあります。 (コ)時間割について積極的に尋ねたり答えたりしている。 < 行 動 観 察 > ☆教材⑭ 解答用紙
挨拶	○ふり返りカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish .”	○ふり返りカードを配付する。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish .”	☆ふり返りカード

